

2019年度フランス語学科専任教員の業績

阿部 明日香

【論文】

- (1) 「『パラード』覚え書——コクトー、サティ、ピカソ、マシーンの共作」『フランス文化研究』第51号、獨協大学外国語学部フランス語学科、2020年3月、pp.1-37

尾玉 剛士

【共著】

- (1) 『教養としてのヨーロッパ政治』松尾秀哉、近藤康史、近藤正基、溝口修平編、(分担執筆：第3章「フランス」pp.49-70) ミネルヴァ書房、2019年6月

【その他】

- (1) 「マクロン政権の年金改革案——普遍的年金システムの導入——」『週刊社会保障』No. 3057、2020年2月、pp.42-47

【口頭発表】

- (1) 「書評：二木立著『地域包括ケアと医療・ソーシャルワーク』勁草書房、2019年」社会政策学会関東部会研究会、東京大学社会科学研究所、2019年7月21日

木田 剛

【口頭発表・講演】

- (1) KIDA Tsuyoshi (2020) “Japan: 65 years of international cooperation”, Symposium “The world and Bandung 65 years on: what assessment?”, Roundtable “Asia 65 years after Bandung”, 12 February 2020, Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne, Paris. 単独発表 (英語)「招待パネル」(2020年2月12日)
- (2) KIDA Tsuyoshi (2020) “Historical return to socio-economic nexus of infrastructure-development in Africa: Lessons for a rising Asia”, International conference “The rise of Asia in global history and

perspective: 65 years after Bandung: What rupture and what continuity in global order?”, 12-14 February 2020, Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne/Université Le Havre Normandie, Paris/Le Havre, 13 February 2020. 単独発表（英語）「審査付」（2020年2月13日）

- (3) KIDA Tsuyoshi, PAREPA Laura-Anca (2020) ““Issues and challenges around higher education in Japan”, International conference “The rise of Asia in global history and perspective: 65 years after Bandung: What rupture and what continuity in global order?”, 12-14 February 2020, Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne/Université Le Havre Normandie, Paris/Le Havre, 14 February 2020. 共同発表（英語）「審査付」（2020年2月14日）
- (4) KIDA Tsuyoshi (2020) “A new French-based register? Analysis of commercial naming in public urban space in Japan”, International Conference on Asian Linguistic Anthropology (CALA) 2020 “Asian text, global context”, 5-8 February 2020, Universiti Putra Malaysia, Bintulu (Malaysia), 6 February 2020. 単独発表（英語）「審査付」（2020年2月6日）
- (5) 木田 剛 (2019) 「日本文化の国際化」、兵庫県中播磨県民センター主催「日本文化再発見シンポジウム」（兵庫県伝統文化研修館事業）、2019年9月21日、兵庫県公館第1会議室「招待講演」
- (6) KIDA Tsuyoshi (2019) “Influence du français sur les noms des produits commerciaux dans l’espace public”, Symposium (Journée d’études) “Le genre bref dans l’espace public”, Université Aoyama Gakuin, 3 August 2019. 単独発表（フランス語）（2019年8月3日）

熊木 淳

【口頭発表】

- (1) Atsushi KUMAKI, « L’erreur judiciaire est à cacher : Hideo Yokoyama et le polar japonais », colloque international *Littératures et l’erreur judiciaire : de dénonciation en réparation (XVII^e-XXI^e siècles)*, Université de Bordeaux, le 8 juillet 2019.
- (2) Atsushi KUMAKI, « La poésie et l’entreprise : le travail répété vu par la poésie sonore », colloque international *La poésie contemporaine, les médias et la culture de masse*, Eötvös Loránd University, le 19

septembre, 2019.

根木 昭英

【論文】

- (1) 「二つの『自己原因』——サルトルにおける神の問題」『フランス哲学・思想研究』第24号、日仏哲学会、2019年9月、pp.204-215（査読有）
- (2) 「作家と著名性、その一致なき一致——サルトルにおける『読まれること』の諸相」『立教大学フランス文学』49号、立教大学文学部文学科フランス文学専攻、2020年3月、pp.11-27（招待有）

廣田 愛理

【共著】

- (1) 『フランスと世界』渡邊啓貴・上原良子編、（分担執筆：第Ⅱ部トピック編6「フランスの農産物」pp.207-212）法律文化社、2019年11月

森井 良

【編訳】

- (1) ランボー、コクトー、ジッド他『特別な友情：フランスBL小説セレクション』新潮文庫、2020年1月、全470頁（芳川泰久、中島真紀子、朝吹三吉と分担訳、編纂と解説担当）

【その他】

- (1) 「“特別な友情”という名の“愛”」『波』第603号、新潮社、2020年3月、pp.98-101

Georges Veyssière

【単著】

- (1) 『クラウンフランス語単語入門：仏検4級・5級対応』、三省堂、2020年3月

【論考】

- (1) 「中世研究とフランス語教育——フランス語教員のための歴史文

法——」(有田豊、片山幹生と共著)『RENCONTRES』33号、pp.67-71、2019年7月

【その他】

- (1) 「[特集] 仏政府公認フランス語資格 DELF A1 に挑戦！」(田中善英と共著)『ふらんす』、2020年4月号、2020年3月
- (2) ウェブコラム『三省堂 WORD WISE-WEB「歴史で謎解き！フランス語文法』
 - 「第1回 フランス語はいつから話されていた？」2019年4月19日
 - 「第2回 中世のフランス語」2019年5月17日
 - 「第3回 近代以降のフランス語と多様なフランス語の世界」2019年6月21日
 - 「第4回 定冠詞って、どうやってできたの？」2019年7月19日
 - 「第5回 名詞の複数形を示すのに « x » を使うのはなぜ？」2019年8月16日
 - 「第6回 フランス語の否定文は特殊なの？」2019年9月20日
 - 「第7回 なぜフランス語の名詞には性があるの？」2019年10月18日
(以上、有田豊、片山幹生と共著)
 - 「第8回 不規則活用って、どうやってできたの？」2019年11月15日
 - 「第9回 国名につく前置詞はà？それともen？」2019年12月20日
 - 「第10回 souvent と chantent の語末の発音が違うのはなぜ？」2020年1月17日
 - 「第11回 なぜフランス語の数詞は、こんなにも複雑なの？ ①」2020年2月21日
 - 「第12回 命令法2人称単数の語尾 -s はなぜ落ちるの？」2020年3月20日
(以上、有田豊、片山幹生、高名康文と共著)

【口頭発表】

- (1) 「フランス抒情詩における形式と音楽——トゥルバドゥール、シャンソン、ジャズ」日本フランス語フランス文学会2019年度秋季大会ワークショップ(コーディネーター: 廣田大地/パネリスト: 五味田泰、中山慎太郎、ヴェスイエール)2019年10月27日

執筆者紹介 (掲載順)

Philippe VANNEY : 獨協大学 教授

尾玉 剛士 : 獨協大学 専任講師

紀要委員 藤田朋久, ジョルジュ・ヴェスイエール

『フランス文化研究』投稿規程

- 1 『フランス文化研究』(以下「本誌」)に投稿できる者は、フランス語学科(以下「本学科」)教員、退職した本学科教員、および本学科長が認めた者とする。
- 2 本誌に投稿を希望する者は、発行年の前年6月末までに、その旨を本学科共同研究室まで書面で申し出なければならない。
- 3 書式等については別に定める。

フランス文化研究 第52号

2021年3月15日 印刷

2021年3月20日 発行

発行所 獨協大学外国語学部フランス語学科
埼玉県草加市学園町1-1 (〒340-0042)

印刷所 株式会社 外為印刷